

シダレザクラ記念植樹

大短大 職能
創立30周年 同窓会から贈呈



大館市の秋田職業能力開発短期大学校（中村雅英校長）は20日、同校敷地内で創立30周年記念植樹式を行った。教

職員や学生ら約30人が出席し、同窓会「杉風会」から贈呈されたシダレザクラの成長と、同短大の発展を願った。

シダレザクラの根元に土をかける（左から）中村校長、奈良岡さん、笹森会長（秋田職業能力開発短期大学校）

同短大は昨年、創立30周年の節目を迎えた。昨年9月の記念式典で杉風会から記念品として、シダレザクラ3本を贈呈された。本館南側の敷地に植えることになった。

式で杉風会の笹森信仁会長は「過去30年間の成長と発展を振り返り、現在の充実した活動に感謝し、未来への希望と繁栄を記念して植樹する。この木が時間と共に大きく成長し、職能短大も同じように成長し、いつまでも若者が集う場であることを願う」とあいさつした。

中村校長と笹森会長、学生を代表して学生自治会長の奈良岡海誠さん（住居環境科2年）が、シダレザクラの根元にスコップで土をかけた。

中村校長は「40、50、60年と続けていかないとけない。この木は大きくなるが、職能短大ももっと大きくなるといけない。一緒に頑張っていこう」と呼びかけた。